

Think Big!



2024.12.25

No. 105

新宿支部の
公式 Twitter も
チェック!

羽越線脱線転覆事故から19年

「いのち」の大切さ、遺族の悲しみを忘れず
「安全で安心して利用できる鉄道」を
私たちが創っていきましょう!

事故当時の概況

2014Mいなほ14号、秋田駅61分延で発車

途中強風のため指令の指示により25km/h以下の徐行

徐行区間以外は通常より速度を落として運行

酒田駅68分遅れに増延

19時14分頃、北余目～砂越間、最上川橋梁付近にて突風により脱線

事故の背景

- 脱線原因は瞬間的に40m/sの突風が局所的に発生、車体が風により傾いたことで脱線した
- JRが設置した風速計が20m/s程度しか検知しておらず、ごく狭い範囲を移動した突風を検知できなかった
- 運転士は自らの判断により通常よりも速度を落として運転、回復運転は行っていない
- 新潟支社の指令室にあるFAXが故障したままになっており気象庁からの警報・注意報等、気象情報を受信ができる状態ではなかった

羽越線脱線事故では5名の尊い命が失われ、31名ものお客さまが重軽傷を負いました。「予見できない局所的な突風、事故は避けられなかった」と鉄道事故調査委員会の報告では結論付けられています。しかし命が失われた事は変わらない事実です。

鉄道は経験を長年積み重ねることで習熟し、業務中の危険予知、危険回避により安全を保ってきました。ジョブローテーションにより本人希望していない職種への強制配転が続いています。技術力、本人のモチベーション、職場士気の低下により安全が脅かされています。**働く仲間、利用者すべての「いのち」を守るために新宿支部は取組みを強化していきます。**